

令和８年度 養殖共済の推進状況等について

令和８年度の養殖共済（さけ・ます養殖業等を除く。）の加入推進は、現在大詰めを迎えています。

今年度は、たいやくろまぐろ養殖業を中心に休廃業や尾数の減少に伴う契約実績の減少があった一方で、２、３年魚はまち養殖業で新規契約や尾数増、また制度改正により新たに共済対象となった陸上ひらめ養殖業で新規加入があったこと等により、６月末時点の養殖共済の共済金額は１,９８０億円（前年比１００%、１億円増）、積立ぶらすの漁業者積立額は７８億円（前年比１１７%、１１億円増）となっております。７月以降については、モジャコ（はまちの稚魚）不足による１年魚はまち養殖業への影響が懸念されますが、養殖共済全体では前年度と同程度の契約実績を見込んでいます。

一方で、報道等にあるとおり、６月に八代海で発生した赤潮では、熊本県でかんぱち、しまあじ等が、鹿児島県でぶり、かんぱち等がへい死し、両県合わせて７０万尾以上の被害が発生しています。共済団体は現在、現地調査を進め、被害状況の迅速な把握と共済金の早期支払いに向け、全力を挙げて取り組んでいます。

赤潮のみならず、本格的な台風シーズンの到来など、自然災害リスクが高まる時期を迎えます。漁業者の皆さまに「ぎょさい」と「積立ぶらす」をご活用いただけるよう、取り組んでまいりますので、今後とも関係各位のご支援とご協力をお願いいたします。

令和８年度の加入実績（６月末累計） （単位：百万円）

区 分	共 済 金 額			漁 業 者 積 立 額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁獲・特定養殖共済（漁獲）	77,107	73,908	104%	4,621	4,749	97%
漁獲・特定養殖共済（特定養殖）	1,919	2,071	93%	74	79	94%
養 殖 共 済	197,953	197,862	100%	7,765	6,653	117%
漁 業 施 設 共 済	8,438	7,967	106%			
地 域 共 済	4,209	5,374	78%			
合 計	289,627	287,182	101%	12,460	11,480	109%